

令和 4 年 8 月 10 日

第 5 次見附市総合計画（後期基本計画）の進捗状況・評価について【令和 3 年度実績報告】

1. 評価方法

- ・第 5 次総合計画（後期基本計画）の計画期間は**令和 3 年度から令和 7 年度の 5 年間**です。
- ・当該計画の**令和 3 年度実績**について、以下基準により評価を行います。

◎（達成）	：最終目標数値に対し達成
↗（上昇）	：最終目標数値は未達成であるが、基準値または令和 3 年度目標値（第 2 期総合戦略 KPI）より増加
□（維持）	：最終目標数値は未達成であるが、基準値と同程度を維持
↘（下降）	：最終目標数値が未達成であり、基準値より数値が低下
—（未評価）	：調査または事業の未実施

【セルの色】

- 水色：総合戦略の KPI と重なる指標 …令和 3 年度目標と比較
- 緑色：まちづくり市民アンケート指標 …未評価（R3 未実施のため）
- 白色：それ以外の指標 …最終目標値または基準値との比較

2. 達成状況

（1）達成または数値上昇・維持（◎/↗/□）は 17 指標（60.7%）

未評価を除いた 28 指標の内、6 割が達成または数値上昇・維持となり、現在実施している事業が一定の効果を有していると考えられます。

（2）最終目標数値が未達成であり、基準値より数値が低下している指標（↘）は 11 指標

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業の中止、規模縮小や人数制限等により未達成となった指標が 8 指標となりました。社会活動の再開に伴い、感染症拡大以前の状況へ回復もみられるため、事業の方向性を維持しながら、社会情勢の変化に対応し、今後の目標達成を目指します。

達成状況	評価指標数	割合
◎ : 達成	8	<u>28.6%</u>
↗ : 上昇	6	<u>21.4%</u>
□ : 維持	3	<u>10.7%</u>
↘ : 下降	11	39.3%
— : 未評価	12	—
合計指標数	40	—

◎達成・↗上昇・□維持＝計 17 指標

60.7%が概ね順調に推移

※未評価を除く 28 指標で集計

※詳細は資料 2-2 参照

※ 「未評価」の 12 指標は「まちづくり市民アンケート」（2 年毎）の結果を評価する指標
令和 3 年度は未実施のため、今年度実施する市民アンケートの結果をもって評価します

3. 下降（\）となった指標の分析および対応策について

【項番5】1人1日当たりのゴミ排出量

① 現状分析 令和3年度目標：860g ⇒ 実績値：870g（10g増）

- ・令和3年度のゴミの総排出量は約12,575tとなり、前年比で278t減少
- ・総排出量は減少したが、人口減少が進み1人当たりの排出量の減少には至らなかった
※R3:人口39,623人（前年比▲348（R2:39,971人））

② 対応策

- ・環境情報誌を配布し、具体的な手法を明示した減量排出や分別排出の促進を継続的に実施
- ・年度ごとに重点とする減量対象設定やアプローチ手法を変え市民、事業者への理解の促進に努める

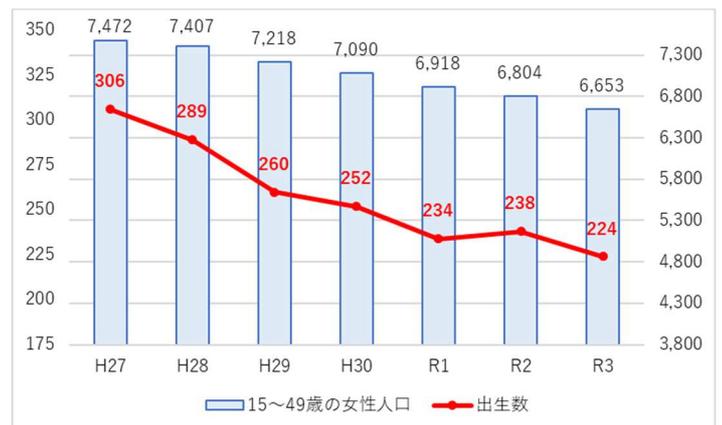
【項番27】出生数の維持（10/1-9/30）

① 現状分析 令和3年度目標：250人 ⇒ 実績値：224人（26人減）

- ・安心して妊娠・出産に臨むための不妊、不育治療費などの経済的支援や各種健診体制を維持。
- ・「ネウボラみつけ」を中心に専門的な支援が必要なケースに対する妊娠・出産・育児の包括支援も実施し支援を継続。
- ・基準年（R1年）と比較し、15～49歳女性の人口の減少が続いている。

② 対応策

- ・引き続き支援の維持及び、周知を強化し出生数の維持に繋げていく。
- ・30歳代の転入は+31と増加維持の傾向にあり子育て世代の転入促進は一定程度図られている。20歳代の転出は悪化傾向にあるため、移住定住施策と出生・子育て施策を横断的に連携させ支援を行っていく必要がある。



【項番39】20代・30代の社会動態（転入-転出）

① 現状分析 令和3年度目標：▲30人 ⇒ 実績値：▲54人（24人減）

- ・20歳代：▲85人（前年比33人減）、30歳代：+31人（前年比1人減）
- ・20歳代では職業理由による転出が増加、30歳代では住宅、戸籍理由による転入が増加傾向となる。

② 対応策

- ・20歳代の職業理由による転出が顕著であるため、働く場の創出、市内産業の活性化及びPRを強化し転出抑制の対策が必要。
- ・一方で、若年層の住宅理由による転入が増加していることから、引き続き生活環境の良さや、子育て支援の充実や周知の強化も必要となる。

令和3年新潟県人口移動調査（2020年10月～2021年9月の見附市の人口移動の状況）

